

目標達成計画

事業所名 有)敬友 GH いずみの里

作成日 : 平成 27年 8月 23日

市町村受理日: 平成 27年 8月 26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議には多数の方が出席されているものの、出席する家族が固定されつつある。また、会議に欠席した家族への議事録の公開が不十分である	出来るだけ多くのご家族の方が運営に参加でき、交流の機会が持てるようお膳立てしていく。会議での提言・助言は謙虚に受け止め、法人理念である「尊厳ある暮らし」「その人らしい過ごし方」を実践、ケアに活かしていく	1. 前もって議題を提起、関心に繋げる。議事録は開催の都度、全てのご家族に送付し更に関心を喚起する 2. ホーム行事と併行することも検討、出てみたい想いと参加の機会を作る 3. 参加しやすい時間や曜日、場所などをアンケートの実施などで把握し、参加の機会とご家族同志を繋げる工夫	1年
2	35	GHが地域の社会資源として機能しているのか不明 災害発生時には要援護者施設としての受け身の体制のみならず、地域の要援護者などに適切な支援が行えるような対策や訓練が出来ていない	自然・人的災害を問わず災害対応マニュアルの整備を行い、日頃の取り組みやケアの内容、地域住民を含めた防災体制を構築する マニュアルには、地域住民の役割や協力体制を明記し日常的に発信していく GHが地域の社会資源としての役割を担う事が出来るように整備する	災害対応マニュアルの整備及び施設・法人の災害発生時の基本方針を策定する 1. 利用者、職員も含めた人命の保護を優先する 2. 施設の保護や適切な業務復旧を行う 3. 地域の要援護者などの支援を行う 災害に備える体制作り 1. 組織体制の整備。地域住民の協力体制・役割 2. 連絡体制(安否確認や連絡方法、職員行動チャート、参集の基準など 3. 情報の収集と発信 4. 備蓄 5. 緊急時に必要な利用者情報の整備 6. 行政機関(区・市・道)との情報の確認	1年～2年

3	26	<p>マスタープランでの詳細なサービス内容は、日々の援助記録と連動しやすい様に、介護の現場で考察、記入していく必要があると考える。また 介護技術の記載が必要な場合もあり矛盾に思うこともある。ケアプラン委員会を中心に「個別援助計画」としてまとめ、全員が「支援経過記録」に残せるようになることが課題である</p>	<p>ケアを成し遂げた達成感と利用者の満足感。ケアの質の向上といつまでも学び続ける姿勢。全員が介護技術を意識して「支援経過」を記録に残せるようになることが目標である</p>	<p>1. マスタープランである「施設サービス計画書」のサービス内容欄には介護職が行う具体的な援助を「個別援助計画」としてケアプラン委員会を中心に考察、作成 2. 「個別援助計画」に基づくケアの実践、介護行為・技術、具体的な支援経過の記録（プランに連動した記録） 3. モニタリング、評価、計画の更新（改善）などプランの見直しはケアプラン委員会を中心にチームで行う 4. 対人援助技術の研鑽、真摯な振る舞い、チームケアの実践</p>	1年～2年
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。